

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	ほいほい介護予防事業(旧二次予防事業)	会計	介護保険	事業No.	220	施策順No.	35-029
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり	事業種別	政策・その他	予算科目	5-1-1-10-1		
施策	35 高齢者福祉の推進	事業期間	開始	18	終了	介護高齢課	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	・65歳以上で要支援・要介護状態となるおそれの高い高齢者(二次予防高齢者) ・運動機能向上、口腔機能向上、栄養改善認知症予防等の介護予防事業 具体的な数値で表すと(対象指標)						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	二次予防高齢者(人)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	意図	介護予防のサービスを受けることにより、要介護状態になることなく健康で生き生きとした在宅生活を送る。						
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)						
		19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	参加者が事業終了後に要支援・要介護にならなかった割合 %	87	91.1	91.4	90	92.8	90	A
	二次予防高齢者介護予防事業参加者数/二次予防高齢者人口 %	14.8	8.6	15.9	15	17.2	15	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	教室数が増加し、参加者も増えている。教室利用者の中では介護申請者は、低率を示している。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	・二次予防高齢者に対し地域包括支援センターのプランに基づいた通所型の予防教室を実施する。内容は運動機能向上、栄養改善、口腔機能向上等のプログラムを週1回で3カ月法人等に委託して実施する。また認知症予防支援プログラムを月2回6カ月実施する。 ・口腔機能の向上プログラムとして歯科衛生士による訪問歯科指導や栄養改善の必要な二次予防高齢者に対し訪問型のサービスとして栄養士による指導と配食サービスを行う。 ・介護予防事業について、実施前後にアセスメントを行い、生活機能向上の効果があつたかどうか評価する。 ・21年度より二次予防高齢者を把握するための二次予防高齢者生活機能評価事業を本事業に包含する ・22年度より生活機能評価事業は必要な方のみとし、生活チェックリストのみの対象把握となる ※国の「地域支援事業実施要綱」の改訂に伴い、22年8月から「特定高齢者」という名称は、「二次予防高齢者」に変更となった。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 二次予防高齢者選定のための生活機能評価を実施する。(単独・健診と同時実施) 2 通所型介護予防教室を介護保険事業所・NPO法人等に委託して実施する。運動機能向上プログラム・認知症予防支援プログラム 3 訪問型事業として、栄養士による栄養改善の指導と配食サービスの実施、歯科衛生士による口腔機能向上のための指導を行う。 4 二次予防高齢者介護予防事業事業修了者に対し送迎つきのフォローアップ教室を実施する	① 生活機能評価実施人数 ② 介護予防教室実施数と参加人数 ③ 二次予防高齢者栄養改善指導と配食サービス実施者数・訪問口腔ケア指導人数 ④ フォロー教室数と参加者数	①163人 ②23教室277人 ③5人 ④8教室・165人
23年度実施計画	1 基本チェックリストの実施方法を拡大して、二次予防対象者の掘り起こしをはかる。 2 通所型介護予防教室を介護保険事業所・NPO法人等に委託して実施する。運動機能向上プログラム・認知症予防支援プログラム 3 訪問型事業として、栄養士による栄養改善の指導と配食サービスの実施、歯科衛生士による口腔機能向上のための指導を行う。 4 二次予防高齢者介護予防事業事業修了者に対し送迎つきのフォローアップ教室を実施する	① 基本チェックリスト実施人数 ② 介護予防教室実施数と参加人数 ③ 二次予防高齢者栄養改善指導と配食サービス実施者数・訪問口腔ケア指導人数 ④ フォロー教室数と参加者数	①1人 ②教室・人 ③人 ④教室・人

3 事業コスト

		(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	介護予防事業 国25% 県12.5% 市12.5% 1号19% 2号31% 21年度より 国25% 県12.5% 市12.5% 1号20% 2号30%
事業費	特定財源	国庫支出金	6,509	4,663	6,035	
	特定財源内訳、補足事項	県支出金	3,254	2,331	3,017	
		起債		5,595		
		その他	7,811		7,242	
	一般財源		8,461	6,062	7,846	
	計(A)		26,035	18,651	24,140	
	正規職員所要時間		1,200			
	臨時職員等所要時間					
	人件費計(B)		4,291			
	トータルコスト A+B		22,942			

4 事業に対する市民や議会の意見

予防に対する関心は非常に高い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムツ指標
	安心していきいき暮らせる	安心していきいき暮らせている高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのよう貢献しましたか	4年間の振り返り	参加者の実数も年々増加し、参加した方が要介護認定になる割合が年々減少している。19年度13%22年度7.2%
	後期に向けた課題	65歳以上二次予防対象者の認定率が飯田市はまだ少なく、呼ぼう教室を行なう事業者等も少ない現状である。国の指標では、今の3倍程度の利用者が潜在していると示唆している
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	教室の拡大19年6会場(13教室)であったが、22年度11会場(23教室)実施施設の協力が見られた。教室の内容も運動機能の低下防止以外にも、認知症予防の教室もメニューとして取り組んできた。3か月間だけでは不十分とのことで、フォローアップ教室を22年度から実施しほいほい呼ぼう教室修了者の48%の参加が得られた。
	後期に向けた課題	男性参加者の増加の必要性を踏まえ、教室メニューの多様化が必要。教室後の各地域でのフォロー体制の構築
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	教室の拡大により、教室参加者は18年79人から23年度277人と3倍強になったが、そのうち要介護認定になった人が18年度25%であったが22年度は7.2%と3分の1と低くなった。
	後期に向けた課題	ほいほい呼ぼう教室からフォロー教室その後地域での教室を継続することで、要介護認定者の減少をはかる
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	お茶菓子程度の自己負担のみ、市は委託事業者への負担金
	後期に向けた課題	事業者委託の方向であれば、この程度は必要と考える
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①委託事業者:事業の運営 ②事業に対しての円滑な実施の為の支援と協力
	後期に向けた課題	①委託事業者:事業の内容の充実 ②事業に対しての円滑な実施の為の支援・指導と協力
全体を通じて	4年間の振り返り	事業の拡大(参加者の増加)とその後のフォロー体制を作り上げた
	後期に向けた課題	男性の参加者拡大や引きこもりがちな参加者のメニューの提示と修了者に対してのフォローの場の提供

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	----------------------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------